

# ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）

平成28年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生状況

県内5か所のダイズほ場に設置したフェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数（7月第5半旬まで）は、ほぼ平年並に推移しています（図）。

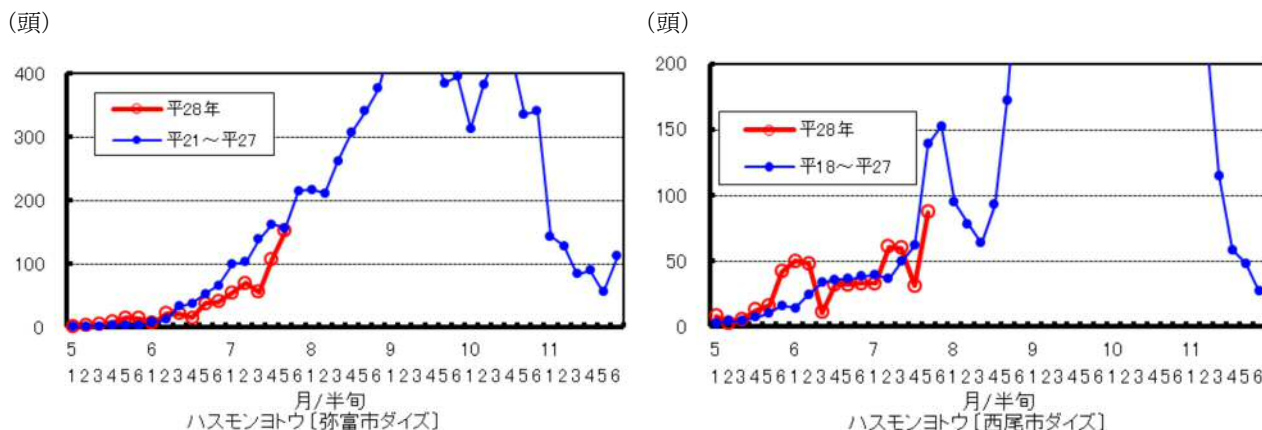


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺状況（弥富市、西尾市）

## 2 今後の見込み

7月28日名古屋地方气象台発表の1か月予報によれば、8月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並と見込まれているため、ハスモンヨトウの発生量は平年並と予測します。しかし、好適な気象条件が続くと8月中旬以降、発生量が急増する可能性があります。

ほ場での発生動向に注意して、白変葉及び幼虫を確認したら、表を参考に防除しましょう。

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

薬剤名	収穫前日数	使用回数
ロムダンフロアブル	14日前まで	3回以内
トレボンEW	14日前まで	2回以内
ラービフロアブル	14日前まで	2回以内
トルネードフロアブル	7日前まで	2回以内
プレオフロアブル	7日前まで	2回以内
プレバソフロアブル5	7日前まで	2回以内
マッチ乳剤	7日前まで	2回以内
マトリックフロアブル	前日まで	3回以内

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。